

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	生涯スポーツ推進事業	会計	一般会計	事業No.	731	施策順No.	26-005
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-6-1-11-5		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	生涯学習・スポーツ課		
施策	26 スポーツの振興			事業期間	開始	13	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市住民基本台帳人口:人	107938	106630	105691	105036	107000	
	意図	多世代にわたるスポーツ活動の活性化を図る。スポーツ指導体制の充実を図る。 総合型地域スポーツクラブの設立や既設立クラブの充実を図ることにより、市民の体力向上を目指す。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合:%	35.7	38.5	37.8	40	34.7	45	B
	スポーツ普及・指導者養成回数(指導者育成講座・ニュースポーツフェスティバル他):回	4	4	4	4	4	4	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		軽スポーツ、ニュースポーツの普及に向けた環境づくりを推進するため、指導者向け講座、ニュースポーツフェスティバルなどを開催。また、コーディネーショントレーニングの指導者育成を行い、市民の体力向上を目指した事業を進め、スポーツ指導体制の充実を図った。事業全体を評価し、上記の目標達成度とした。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> ・地域(中学校区)内の子供から高齢者までが、日常的にスポーツを楽しめる環境を作る。 ・いつでも、だれもが気軽にできる軽スポーツ・ニュースポーツの普及を行い、スポーツ人口拡大を促す。 ・スポーツ(運動)指導者の養成と資質向上を図り、指導者体制の強化と連携を目指す。当面は「コーディネーショントレーニング」手法の普及と指導者育成に取組むとともに、指導者の組織化を図る。 ・総合型地域スポーツクラブについては、中学校区(目安)をひとつのエリアとして連絡調整し組織化を図る。 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 指導者育成を含めた講習会等の事業を実施、指導者育成。(体育指導委員・体育協会等のスポーツ団体と連携した指導者育成。) 2 ニュースポーツの普及大会開催。 3 総合型スポーツクラブの組織化。	1 スポーツ普及・指導者養成回数 2 ニュースポーツ大会の開催 3 総合型地域スポーツクラブ数	1 3回 2 2回 3 2クラブ
23年度実施計画	1 指導者育成を含めた講習会等の事業を実施、指導者育成。(体育指導委員・体育協会等のスポーツ団体と連携した指導者育成。) 2 ニュースポーツの普及大会開催。 3 総合型スポーツクラブの組織化。	1 スポーツ普及・指導者養成回数 2 ニュースポーツ大会の開催 3 総合型地域スポーツクラブ数	1 3回 2 2回 3 2クラブ

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金				
		起債				
		その他				
		一般財源	1,615	1,271	1,534	
		計(A)	1,615	1,271	1,534	
		正規職員所要時間		1,400		
		臨時職員等所要時間				
		人件費計(B)		5,006		
		トータルコスト A+B		6,277		

4 事業に対する市民や議会の意見

市民からスポーツや文化に親しむサークル活動を、公民館等が比較的無料に近い形で実施しているのになぜ受益者負担等を求めるような総合型地域スポーツクラブ推進が必要なのかという意見がある。一方、受益者負担が妥当、施設利用における不均衡は是正、指導者不足の解消等のためには、この事業の推進を望むという意見がある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	①いつでも誰でもどこでも気軽にスポーツに親しむ。 ②競技力が向上する。	施策の成果指標又はムトス指標	成人の日常スポーツ実施率(週1回以上スポーツ実施者/成人人口×100):%
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	指導者養成や、ニュースポーツの普及等を行い、いつでも誰でもどこでも気軽にスポーツに親しめる環境づくりや、競技力の向上に貢献してきた。		
	後期に向けた課題	引き続きスポーツ指導者の拡大のための養成と、誰でも気軽に出来るにユースポーツの普及を図る。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	コーディネーショントレーニングの資格者で組織する「ICOT」と体育協会との連携による事業の推進。		
	後期に向けた課題	「ICOT」と体育協会が主体的にコーディネーショントレーニング指導者を育成し事業を行うための支援。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	指導者の育成経費など現状では経費削減が難しい。また総合型地域スポーツクラブについては、組織立ち上げには一定に事業費が必要となる。		
	後期に向けた課題	同上		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切 でしたか	4年間の振り返り	適切な受益者負担、市の関与である。		
	後期に向けた課題	上記を継続		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果 たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行 政はどのような働きかけをしてきたか、又は、配慮して きましたか	4年間の振り返り	飯田市体育協会や飯田市体育指導委員競技会と指導者育成について取り組んでいる。また体育協では加盟団体の指導者を対象とした講習会や一般向けの体験会を開催している。体育指導委員会競技会は、総合型地域スポーツクラブの推進役やニュースポーツの普及をめざしたニュースポーツフェスティバルの自主開催などの活動を行っている。		
	後期に向けた課題	体育指導委員と公民館体育部が連携したニュースポーツの導入などの事業展開。		
全体を通じて	4年間の振り返り	体育指導委員・体育協会等のスポーツ団体と連携した指導者育成を行い、日常的にスポーツを楽しめる環境づくりを行ってきた。		
	後期に向けた課題	コーディネーショントレーニングの指導者組織の育成および体育指導委員と公民館体育部によるキッズスポーツを中心とした事業展開の充実。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要がある はありますか	ない	対象や意図を修正する 必要がある はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する 必要がある はありますか	ある
-----------------------------	----	-------------------------------	----	----------------------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	------------------------------------------	--------------------------------	----------------------------------------------